

Volt

14.09.
#wählVolt
地方選挙
デュッセルドルフ

の選挙公約要約

2025年デュッセルドルフ市議会選挙

ヨーロッパの

最良のアイデア

私たちの都市のために

FUTURE  MADE IN EUROPE

私たちの主要候補者。 デュッセルドルフ市議会へ

Anne Hahn

1999年にデュッセルドルフに引っ越してきた時、私はこの街にすぐに恋をしました:ライン地方の人々のオープンで生命力に満ちた性格、国際的な雰囲気。この情熱を職業に転換し、数年後には市ガイドと統合教育の教師になりました。子供たちが生まれた後、私はこの街を「ただ」紹介するだけでなく、市議会で積極的に参加して形作っていきたいと思うようになりました。私たちは、私たち自身と私たちの街を、挑戦的な未来に備えて健康で強靱なものにし、その未来に最も影響を受ける人々——私たちの子供たち——の強い声となるために、貢献したいと考えています。

Patrick Mehmet Biermann

デュッセルドルフは8年前から私の故郷です。オーバービルクに住み、ゴルツハイムで働いています。不安定な環境で育った私は、手頃な住宅、良質な教育、社会的保障が、社会の中流層への昇進を左右する要因であることを身をもって体験してきました。現在、デュッセルドルフで多くの人が限界に直面しているのを目にしています。特に、ますます排除する傾向にある住宅市場においてです。私は、この都市が将来、誰もが住める場所となるよう尽力したいと考え、立候補しました。裕福な人だけでなく、すべての人々のために。

Ramona Horlitz

私は23年間、家族とともにアンガームントに住んでいます。政治活動では、医療分野のさまざまなレベルで得た職業経験と、法律の知識を活かしたいと考えています。特に、メンタルヘルスに関するサービスや啓発活動、特に教育・訓練分野での取り組みを重要視しています。私は、誰もが住みやすいデュッセルドルフを目指しています:バリアフリーで包摂的、少数派を保護し、気候変動の課題に備えた都市です。そのためには、市郊外を含む信頼できる公共交通機関の接続が不可欠です。

Danny Müller

私は、経済力と環境責任を両立させるデュッセルドルフを目指しています。そのためには、インフラの近代化、行政のデジタル化、イノベーションと持続可能性を融合した経済の促進が不可欠です。私たちの生活空間を再考する必要があります。より良いバスと鉄道の接続、安全な自転車道、市内のバリアフリー化が不可欠です。緑豊かな広場、より多くの街路樹、冷却効果のあるオープンスペースは、特に気候変動の時代において、デュッセルドルフを住みやすい街にします。私の目標は、変化を積極的に形にし、すべての人々に機会を提供する都市です。

写真: [Sven Vüllers Fotografie](#)

デュッセルドルフの私たち: 多様性の中で団結

すべての人々のための強いコミュニティ。

このような時代では、楽観的なラインラントの人たちでさえ、希望を失わないことは困難です。精神的ストレスによる病気の報告は過去最高に達し、子供や青少年の 4 人に 1 人が精神的な問題を抱えていると報告しています¹。健康は、教育、仕事、社会参加の基盤です。そのため、私たちはデュッセルドルフ市民の身体的および精神的健康を、政策の中心に据えています。

私たちは、デュッセルドルフの結束とコミュニティ意識を強化し、市内のすべての人々が、自分たちが参加できる適切な取り組みやネットワークを見つけられるよう努めます。なぜなら、コミュニティの一員として認識している人は、過激なイデオロギーの影響を受けにくいからです。私たちは、あらゆる形態の差別と過激主義に断固として反対し、デュッセルドルフのすべての人が、年齢、性別、障害、性的指向、宗教、出身に関わらず、その独自性を認められ、尊重されることを望んでいます。

基本理念とビジョン

健康なデュッセルドルフ: 私たちは、公共機関や学校でメンタルヘルスに焦点を当てた「デュッセルドルフ・メンタルヘルス・アクションデー」の設立を求めます。AD(H)Sや自閉症などの神経多様性に関する啓発の必要性を強く感じています。また、あらゆる種類の依存症を予防するための具体的な対策も強化したいと考えています。

社会的結束と市民参加: デュッセルドルフのすべての市民が、市が資金をどのように使用するかを決定する権利を持つべきです。そのため、私たちは100万ユーロの「デュッセルドルフ予算」を導入し、誰でも応募できるようにします。最終的な配分はデジタル投票で決定されます。また、市の多くの団体やイニシアチブを強化し、デュッセルドルフアプリを通じてより効果的に連携させることで、より多くの人々がその貴重なサービスを利用できるよう努めます。

機会均等と多様性: 私たちは、市職員の採用において匿名応募を徹底的に実施することを求めます。これは、応募者の多様性を促進し、公共サービスにおける少数派グループの割合を増加させる効果が実証されているからです。女性相談所の財政状況を改善し、行政機関や学校で無料の生理用品を提供し、シングル親のための夜間・週末の緊急保育サービスを設置します。

インクルージョンとバリアの撤廃: 私たちは、行政における平易な言葉の使用、バリアフリーのライン鉄道駅の拡充、市議会における障害者委員会の投票権の付与などに取り組んでいます。

LGBTQ+: 私たちは、LGBTQ+ コミュニティに対する犯罪の増加を深刻な懸念をもって注視しており、その保護の強化を求めます。私たちは、LGBTQ+ の介護を必要とする人向けの介護施設設立と、レインボーファミリー支援センターの職員増員を推進します。

移民と統合: 新しい隣人たちの都市社会への統合は最優先課題です。私たちは、より柔軟なドイツ語コースの資金調達のための特別予算を設立し、移民のイニシアチブのネットワーク化を促進し、行政機関とのコミュニケーションを英語で可能にします。

¹<https://nachrichten.idw-online.de/2024/12/04/psychische-gesundheit-von-kindern-und-jugendliche-n-durch-globale-krisen-belastet>

差別と過激主義の撲滅:デュッセルドルフは多様で多文化な都市です。しかし、ここでも過激なグループによる脅威が増加しています。過激主義の予防に関しては、啓発活動と、過激な傾向や差別を早期に発見し、対応できる生徒ガイドの育成に力を入れています。

ホームレス対策タスクフォース:住居は、すべての人に与えられる人権です。私たちは、チューリヒ、ウィーン、ヘルシンキでの成功例を参考にした、人間中心の包括的な薬物政策と社会政策を推進しています。ホームレス対策として成功を収めている「ハウジング・ファースト」の概念をさらに発展させ、デュッセルドルフのホームレス問題を効果的に解決していきます。

文化と余暇:私たちは、オペラハウス新築計画を、すべての人々の交流と対話の場所となることを条件に支持します。クララ・シューマン音楽学校の分校、リハーサル室、バンドや合唱団用のステージを整備します。ルイゼンギムナジウムの旧校舎には、10歳以上の若者を対象としたメイカースペース、クリエイティブスペース、ワークショップを整備します。

スポーツは文字通り私たちを結びつけます。私たちは、すべてのデュッセルドルフ市民が自分に合ったスポーツを見つけることができるよう支援し、スポーツクラブを多方面から支援します。例えば、スポーツクラブも申請可能な年間100万ユーロの「デュッセルドルフ予算」を導入します。コーチ不足に対処するため、デュッセルドルフの学校でコーチ養成の初級コースを提供します。さらに、スポーツクラブ内にeスポーツ部門の開設を支援し、従来のスポーツプログラムに魅力を感じなかった若者たちをクラブに誘致しています。

ベストプラクティス:ミュンヘン型の市民予算

ミュンヘン予算2025では、14歳以上のミュンヘン市民全員が、100万ユーロの予算について直接決定権を持つことができます。デジタル参加プラットフォームを通じて、予算の全部または一部を投資すべき提案を提出できます。提案は提出後、市当局によって実現可能性が審査され、コスト見積もりが付されます。その後、提案について投票が行われ、選出されたプロジェクトは定められた期間内に実施されます。

デュッセルドルフの キッズとティーンズ

未来へ力を与える。

明日の政治を作る者は、明日の声にも耳を傾けなければなりません。そのため、私たちは子供たちや青少年の参加を大幅に拡大し、デュッセルドルフの地方政治のあらゆるプロセスにおいて、彼らの利益も考慮したいと考えています。彼らは、今日の私たちの決定の結果を最も長く生きなければならない世代です。その決定の影響は、多くの場合、数年あるいは数十年後に初めて明らかになります。

私たちは、デュッセルドルフのすべての若者が、学校、クラブ、青少年センター、政治など、あらゆる場で参加し、関与する機会を得られるようにしたいと考えています。そのため、スポーツやレクリエーションの機会を大幅に拡大しています。なぜなら、研究によると、ノルトライン＝ヴェストファーレン州の若者の過半数が、少なくとも時々孤独を感じていると回答しているからです⁽²⁾。孤独を感じる人は、過激な思想に傾きやすく、民主主義への信頼を失いやすいことが証明されています。そのため、私たちは若者の孤立防止とより良いネットワークの構築に尽力することが重要な課題だと考えています。

基本理念とビジョン

0歳から6歳までの子供たち: Kita-Navigatorによる保育所の入園枠の割り当てをより透明にし、保育所でのソーシャルワークによる相談窓口を拡充し、保育者の不足にあらゆる手段で取り組んでいます。このため、保育者の教育・研修の拡充と、専門人材の移住促進に特に力を入れています。私たちは、団体が最年少の子供たち向けの新しい低コストのスポーツプログラムを創設し、早期にスポーツクラブに統合するのを支援しています。

デュッセルドルフの小学校児童: 小学校時代は、都市社会の一員として自立した人生を送るための基礎を築く重要な時期です。私たちは、社会的な共生意識を早期に育むことを目指し、小学校と地域社会との連携強化を目的としたあらゆるアイデアを支援します: 清掃や改修活動、ZentrenPlusとの協力、企業見学など。さらに、男の子の支援と子どもと保護者のメディアリテラシーを強化し、小学校の子どもたちが安全かつ自立して街を移動できるようにしたいと考えています。

ティーンズ・イン・タウン: デュッセルドルフのすべての教室に「フィール・グッド・ガイド」を導入し、クラブがeスポーツ部門を設置しやすくし、バスティオン通りにあるルイゼンギムナジウムの旧校舎を、12歳以上の若者が経験豊富なメンターの指導のもとで芸術や手芸に挑戦できる場所にすることを目指しています。私たちは、中学校や高校が地域社会に積極的に参加することを支援し、特に社会的に不利な立場にある若者への継続的な支援を期待しています。教育的な指導のない交流の場を創出したいと考えており、例えば第3区に新しい屋外プールを建設する計画があります。

子どもたちに権力を - 子どもとティーンエイジャーのための政治参加: 私たちは参加支援センターを強化し、若者との対話を通じてデュッセルドルフの若者の政治参加の新たな形態を推進できるよう支援します。私たちは、子どもと若者を対象としたプロジェクトに、彼らが自ら決定できる10万ユーロのU25予算を要求します。私たちは、生徒議会と地区代表との定期的な交流会を開催し、地域の若者の課題を議論することを求めます。

²<https://www.land.nrw/pressemitteilung/jeder-fuenfte-jugendliche-nordrhein-westfalen-ist-stark-einsam-landesregierung>

ベストプラクティス: アイスランドの薬物乱用防止対策

アルコールと薬物の乱用に対抗するため、アイスランド政府は1990年代末に全国的な予防プログラムを導入しました。政府は若者の保護に関する法律を強化し、青少年とその親は、余暇の大部分を家族や団体での有意義な活動に費やすよう奨励されました。2016年には、15歳と16歳の若者のうち、月に1回以上飲酒する人は5%に、毎日喫煙する人は3%に減少しました。

ベストプラクティス: バルセロナの「スーパーブロック」

バルセロナは「スーパーイラス」の導入により、都市の生活を革命的に変えました。市中心部の複数の地区で、複数の道路が統合され、通過交通が禁止されました。解放されたスペースは、公園、緑地、自転車道に再整備されました。車でのスーパーブロックへの進入は時速7km以下に制限されています。子どもたちは安全に、自由にスーパーブロック内を移動できます。

住民の生活の質は、空気の質の向上、騒音の大幅な削減、安全感の強化により、著しく向上しました。バルセロナは2030年までに503の追加スーパーブロックを計画しています。近隣住民の計画への強い参画により、スーパーイラスは高い支持率を誇っています。

私たちのデュッセルドルフ： 未来に備えた都市

私たちのスマートシティのビジョン。

私たちの街では、ここ数年で多くの良い変化が見られますが、気候変動への適応や市民サービスに関しては、まだ改善の余地があります。私たちは、次の選挙までの計画ではなく、将来の気候や社会の問題を先見的に考慮した都市計画を望んでいます。過去の建築上の過ちを是正するため、不要なコンクリート部分を大規模に除去しています。市内にマイクロフォレストを植樹し、将来の熱波時に冷却効果をもたらすだけでなく、交流と対話の場所となることを目指します。

私たちは、デジタル化に伴い、都市社会のためのスマートなサービスプロバイダーへと変革する市行政を求めます。そのため、デュッセルドルフアプリを導入し、すべてのサービス、支援、イニシアチブを連携させ、AIの支援により、個々の生活状況に合った情報とサービスに正確に導きます。これにより、私たちのストレスを軽減し、行政職員のリソースを節約し、効率的な国家への信頼を強化し、最終的に民主主義への信頼を強化します。

基本理念とビジョン

デジタル化とスマートシティ:私たちのビジョンは、人々を結びつけ、誰もが社会的な政治参加を可能にするダイナミックなデジタルエコシステムです。これには、広域で無料のWi-Fi、都市に関するすべての関連情報を連携するアプリ、仮想的な行政窓口訪問、市民参加のデジタル形式、照明、公共交通機関、交通の流れの管理のためのスマートなソリューションなどが含まれます。

住みやすいデュッセルドルフ:私たちは、バルセロナのスーパーブロックをモデルにした交通量を大幅に削減した住宅地区を、一貫して整備したいと考えています。これにより、通過交通を極力排除し、近隣住民の交流の場を創出します。ガラス職人地区は、このモデルに基づく地区の建設に最適な場所です。

新オペラハウス建設:私たちは、デュッセルドルフのすべての人々にとって社会的に公正なオペラハウスを望んでいます。新築は、社会プロジェクトや必要な気候変動対策の犠牲になってはなりません。オペラハウスは、音楽との出会いや生涯学習の場となるべきです。クララ・シューマン音楽学校やバンドや合唱団の練習室だけでなく、デュッセルドルフの豊かな音楽史に関する展示会など、追加の収入源となるような施設も設置すべきです。

緑豊かな都市と気候変動対策:私たちは、デュッセルドルフを、すべての世代にとって気候変動に強い、健康で住みやすい都市にしたいと考えています。気候危機に断固として対応し、都市の緑化、土壌の復元、暑さ対策の「クールスポット」、公正な暖房転換、持続可能な都市計画を推進する都市です。なぜなら、緑化は暑さを和らげ、空気を改善し、交流の場を生み出し、私たちの生活の質を向上させるからです。私たちは、明日も呼吸できるデュッセルドルフを、誰一人取り残さないために尽力します。

メイカースペース:私たちは、中心部に、例えばルイーゼンギムナジウムの旧校舎やオペラ新館の一部として、市営の最初のメイカースペースを設立します。これは、誰もが利用できる、共同での研究、探求、修理を行う場所です。専門家の指導のもと、さまざまなテーマのワークショップで、プロ仕様の3Dプリンター、レーザーカッター、CNCフライス盤など、多様な設備を整備します。この市営メイカースペースは、私たちの街におけるイノベーションの促進、持続可能性、技術教育に貴重な貢献を果たします。

安全: Volt は、日常生活の中で安全、尊重、結束が実感できる街づくりを目指しています。スマートな照明、治安部隊の可視化、過激主義の防止、未来志向の都市開発により、すべての地区で安心感を強化し、恐怖や排除のない街づくりを目指しています。なぜなら、安全な街は、統制だけでなく、信頼、優れたインフラ、共同行動によって生まれるからです。

清潔さ: デュッセルドルフは、清潔さが配慮、責任、結束の表れである都市であるべきです。ごみの削減、明確な基準、スマートな組織、積極的な参加により、清潔な道路、公園、イベントを実現します。なぜなら、清潔さは小さなことから始まり、街全体の景観に影響を与えるからです。

動物保護: デュッセルドルフでは、ここに住む人々だけでなく、動物にも住みやすい環境を提供したいと考えています。ペットや家畜、野生動物、昆虫など、すべての生き物に対して、種に合った生息環境の整備を促進し、人々がすべての生き物に対して配慮と注意を払うよう促します。

ベストプラクティス: ウィーンアプリとゲルゼンキルヒェンのEMMA



ウィーンの「ウィーンアプリ」は、100万回以上のダウンロードと80%を超えるユーザー満足度を誇り、生活を本当に便利にする地方自治体のアプリの優れた例です: デジタル行政手続き、統合されたウィーンボットと音声入力による情報の簡単検索、関連情報をすべて掲載した都市地図、イベント情報、図書館のデジタル会員カードなどにより、多くのウィーン市民の日常生活に欠かせないツールとして定着しています。継続的な改善とユーザーのニーズへの対応により、「ウィーンアプリ」は現代的な都市行政とコミュニケーションのモデルケースであり、デュッセルドルフアプリのベストプラクティスとなっています。

ゲルゼンキルヒェンは現在、市民サービスにおけるデジタル申請処理のための最初のスマートAIアシスタント“EMMA”を導入しています。2026年から、市民の要望や申請を支援し、問い合わせを受け付け処理する予定です。これにより、行政手続きが迅速化され、行政職員はルーティン業務から解放され、より複雑な課題に集中できるようになります。

住宅と建設

住むことは基本的人権です：

公正で公共の利益を重視し、持続可能な都市開発のために。

デュッセルドルフは豊かな都市ですが、ここに住むことがますます困難になっています。過去数年間で住宅需要が着実に増加する中、市が設定した年間6,000戸の新築住宅目標は大幅に未達に終わりました。2023年にはわずか約3,300戸の新築住宅が建設されました（出典：LhD、統計局）。特に深刻なのは、これらの新築住宅の3分の1未満が、手頃な価格または公的支援を受けた住宅セグメントに該当しない点です。代わりに、高級またはラグジュアリーセグメントの住宅は主に都心部に建設されています。

同時に家賃も大幅に上昇しています。2025年第1四半期時点では、既存住宅の冷暖房費を除く家賃は13.48€/m²、新築住宅では16.58€/m²でした。100m²の住宅の場合、月額家賃は1,350€から1,660€に上ります。小規模で家族向けの住宅の不足が継続する中、家具付きや期間限定の賃貸契約の割合が増加しており、これらの契約は家賃規制の対象外となっています。

特に低所得者や中間所得者にとって、慣れた地域に住み続けることがますます困難になっています。高級化改修、所有権の転換、運営費の増加などにより、追い出しの危険性が高まっています。デュッセルドルフでは、約7,000世帯が急迫した追い出しの危険にさらされていると推計されています。

これらの動向は、市場「だけ」では問題解決は不可能であることを示しています。手頃な住宅を供給し、投機的な追い出しを阻止し、地域の社会的な結束を守るための、断固とした公共住宅政策が必要です。住宅分野ほど、地方自治体が広範な裁量権を持つ分野はほとんどありません。

住宅政策は、デュッセルドルフにおける社会的正義の核心的な分野の一つです。Voll Düsseldorfとして、私たちは積極的で公共の利益を重視し、気候変動に配慮した住宅政策を推進します。私たちの目標は、手頃な住宅を確保し、追い出しを防止し、社会的・生態学的に持続可能な都市開発を推進することです。

基本原則とビジョン

排除と社会的売却からの保護：デュッセルドルフは、高家賃を支払える人だけでなく、すべての人々のための都市であり続けるべきです。そのため、私たちは排除に断固として反対し、長年住み慣れた地域で暮らす人々の保護を強化します。例えば、新たな社会維持条例の導入とその厳格な監視、賃貸住宅から分譲住宅への転換の制限などです。私たちにとって、社会的に公正な都市開発とは、短期的な利益ではなく、長期的な住宅の安定を意味します。

地方自治体の先買権の戦略的活用：都市は、市場に対して公共の利益に資するルールを積極的に対抗するための行動の余地が必要です。先買権を活用することで、デュッセルドルフは住宅が投機的な手に渡ることを具体的に防止し、代わりに永続的に社会的な用途に充てることができます。私たちはこのツールを強化し、戦略的に活用していきます。

投機的な空室と目的外使用を厳格に処罰する：住宅は居住のために存在し、投資や短期的な利益のために存在するものではありません。私たちは、空室と目的外使用を防止するための明確なルールと効果的な監視体制の確立を推進します。住宅をブロックしたり、目的外に使用したりする者は、その責任を問われることになります。

オフィススペースの住宅への転換: 当市には100万平方メートルを超える空室オフィススペースが存在します。私たちは、オフィス不動産の空室を体系的に把握し、用途転換を審査する「転換台帳」の創設を求めます。所有者は転換に際して積極的に支援を受けるべきです。市は、空室税を通じて長期空室を罰則対象とすべきです。成長する都市において既存のスペースを放置することは、明らかに公共の利益に反する行為です。

連続建設とコスト効率の高い基準の促進: シンプルで良質な建設は、基準を賢く適用すれば可能です。連続建設、モジュール式コンセプト、賢明な計画により、コストを削減し、建設期間を短縮できます。これにより、質が高く、幅広い層の人々が利用可能な手頃な住宅が生まれます。

気候変動対策と社会的責任のある建物改修を統合する: 既存の建物におけるエネルギー転換は、入居者の負担で進められるべきではありません。私たちは、排出量を削減し、資源を節約しつつ、社会的バランスを維持する改修に注力しています。持続可能性と手頃な価格は、住宅建設において矛盾するものではありません。

ベストプラクティス: ミッテルホルシュタイン住宅協同組合

ミッテルホルシュタイン建築協同組合は、限られた予算で新築の住宅を低価格で提供するための優れた例です。ここでは、法律で定められた最低基準のみを満たすように徹底して配慮されています。

具体的には、エレベーターは3階以上の建物にのみ設置し、高価な地下駐車場を省略、断熱材は適度な寸法に抑え、過剰な防音対策やパッシブハウス基準を省略しました。

この戦略により、建設コストは大幅に削減され、一部では1平方メートルあたり2,000ユーロ未満を実現しました。これにより、ネット家賃(光熱費別)は約5.10ユーロ/m²に抑えることができました。同時に、居住品質を犠牲にすることはありませんでした。豪華さではなく、よく考えられた間取り、堅牢な材料、協同組合モデルによる長期的な家賃固定が採用されています。

この例は、現実的な計画を立て、人々の実際のニーズに合わせ、建築法規を賢く活用すれば、建設コストの高騰や人材不足の時代でも、低品質な住宅を一切作らずに手頃な住宅を供給できることを示しています。

モバイル・デュッセルドルフ

公平な土地配分と快適な住環境で、住みやすい都市を実現。

デュッセルドルフには65万5,000人以上の住民と、30万人以上の通勤者が毎日街を移動しています。デュッセルドルフはドイツで3番目に交通量の多い都市であり、残念ながら2025年初頭からドイツの新たな渋滞の首都となっています。増加する自動車は、土地の消費、事故、騒音、排出物により、生活の質を低下させています。

Voltは、すべての市民のニーズを考慮した現代的で環境に優しい交通システムの構築を推進しています。公共交通機関の拡充、自転車道の整備、シェアリングサービスの拡大を通じて、デュッセルドルフを誰もが快適に移動し、住みやすい街にすることを目指しています。

基本理念とビジョン

生活しやすい都市中心部のための平等な交通政策: 2035年までに、公共道路に停車する自動車を半減させる。この目標を達成するため、ラインバーン、自転車インフラ、シェアリングサービスの拡充に注力する。ロンドンと同様の都市通行料の導入（電気自動車、救急車、介護車両、配送車両は対象外）と、住民用駐車料金の再計算により、これらの施策の資金調達を確保します。速度制限は時速30キロメートルですが、多車線の主要幹線道路は例外です。これらの道路は、自動運転の未来に備えて整備されます。

現代的な自転車インフラ: 自転車道網の迅速な整備、近隣都市への高速自転車道、スマートな信号機、自転車駐輪場の整備により、自転車は最も便利で、最も速く、最も安全な移動手段となります。清潔な空気、騒音の低減、居住環境の向上は、デュッセルドルフ市民の健康に特に有益です。目標は明確です: ユトレヒトのような安全な自転車利用を実現することです。

持続可能で現代的な交通サービス: 公共交通機関とシェアリング: 移動は公共サービスの一部として、誰もが利用できるよう、バリアフリー、インクルーシブ、安全である必要があります。16歳までの子供と青少年は、ラインバーンを無料で利用できるようにします。ラインバーンの停留所はバリアフリーで明るく、P&R（駐車場と公共交通機関の連携）サービスを拡充し、新規建設プロジェクトでは、住民が利用可能な十分な数のシェアリングカーと貨物用自転車を用意し、自家用車からの移行をできるだけ魅力的にします。

公共交通機関の魅力を向上させる: 路線の拡充と運行スケジュールの最適化により、信頼性を高めます。より多くの人々が自家用車を手放すよう、交通機関の連携を強化し、カーシェアリングサービスを地域全体に拡大します。アプリで市内のすべての移動手段を統合し、組み合わせ可能なチケットを提供して利用を簡素化します。

経済的発展

持続可能な経済運営：地域に根ざし、ヨーロッパの視点 で考え、世界とつながる。

デュッセルドルフの経済は、GDP約584億ユーロ（2022年）と1人当たりGDP約93,598ユーロ（2022年）を誇り、全国平均を大幅に上回っています。この地域は、金融サービス、保険、ファッションの分野でトップクラスの立地を誇ります。デュッセルドルフはグローバルに連携し、国際的に魅力的です：人口の約40%（2019年）が移民背景を持ち、そのうち約8,400人が「リトル・トーキョー」に居住しています。しかし、これらの強みにもかかわらず、課題も存在します。介護、IT、職人業における人材不足、失業率約6.6%（2022年11月）、デジタル化推進の遅れ、新規設立企業の少なさなどが挙げられます。

この章では、デュッセルドルフがどのように強みを活かし、課題を克服し、経済発展と社会的・環境的責任を調和させることができるかを示します。スタートアップ支援からデジタル行政、専門人材の統合まで、デュッセルドルフをさらに前進させる展望を概説します。

基本理念とビジョン

革新的で持続可能な経済：未来は、個人でも企業でも、持続可能性が鍵となります。デュッセルドルフは、2035年までに気候中立を達成するという野心的な目標を掲げています。そのためには、都市の経済変革も必要です。私たちは、企業、特に職人、中小企業を、持続可能性とデジタル化への変革において支援したいと考えています。

アジア諸国からの新規企業誘致：デュッセルドルフは国際的な都市として、ヨーロッパから日本、そして一部は中国への玄関口となっています。この立地を強化し、特に市の空き商業用地への投資を確保するため、アジアからの新規企業誘致を積極的に支援します。特に、気候に優しい技術に焦点を当てます。

デュッセルドルフのスタートアップ：デュッセルドルフには既に活気あるスタートアップコミュニティと確立された支援体制が存在します。これをさらに拡大し、デュッセルドルフの大学からのスピノフにも焦点を当てたいと考えています。特に、技術系スタートアップの資金調達をより積極的に支援することで、デュッセルドルフが革新的で進歩的な経済を保つことを確保します。多様なスタートアップシーンを確立するため、女性や社会貢献を目的としたスタートアップにも注目しています。

デジタル行政としての立地要因：書類、予約、許可がオンラインで多言語対応かつ透明性を持って処理されることで、時間と手間が節約され、人材と企業にとって魅力的な都市となります。私たちは、官僚主義ではなく、人々を結びつけるデジタルなデュッセルドルフを目指しています。

予算と財政

未来を創造するのではなく、管理する： 公共の利益を重視した財政政策。

デュッセルドルフは、財政政策において根本的な課題に直面しています。教育、モビリティ、デジタル化、気候変動対策、社会インフラへの支出は増加の一途をたどっています。同時に、地方自治体の収入の大部分を占める事業税収入の急激な変動など、財政リスクも拡大しています。多くの市民は、地方自治体の財政政策を不透明で理解しにくいと感じています。しかし、この政策は、私たちの街で何が可能かを決定する重要な役割を担っています。そのため、私たちは次のように考えています：透明性のある予算執行が不可欠です。賢明な優先順位を設定し、新たな資金調達手段を模索するのではなく、緊縮財政政策を推進するのではなく。私たちは、戦略的な投資、公共の利益に充てられる収入、特にEU資金を含む外部資金の活用に注力します。私たちは、公共の利益と参加を重視し、信頼を築き、責任を果たす財政政策を求めます。これは、現在だけでなく、未来の世代のためにもです。

基本原則とビジョン

健全な財政運営の確保：信頼できる財政運営は、将来を見据えた政策の基盤です。すべての財政決定において透明性、理解可能性、長期的な責任を確保することで、世代間の公平な都市開発を実現します。

理解しやすい財政運営と市民参加：財政政策は専門家だけの専門分野であってはなりません。オープンデータ、デジタル参加、簡単なアクセスを通じて、公共財政への信頼を強化し、対等な立場での参加を可能にします。

収入の再考 - 連带的な都市財政のために：安定したコミュニティには公正な収入が必要です。私たちは地方財政のあり方を再考し、公共の利益を重視した参加を促進し、重要な未来の課題のための新たな資金調達手段を開拓します。

先見性のある投資：投資は効果的で責任あるものでなければなりません。そのため、私たちは、社会的、環境的、経済的な社会的利益に基づいて投資を体系的に評価し、投資を未来に焦点を当てたものにしていきます。

連邦政府とEUの財政をより有効に活用する：多くの助成金制度が活用されていないのは、需要がないからではなく、構造的な問題のためです。私たちは戦略的に計画を立て、助成金を積極的に申請し、これらの助成金を提供する機会をより一貫して活用していきます。

効果重視の予算管理を導入する：公共支出は単に正確であるだけでなく、意味のあるものでなければなりません。今後、予算において実際に効果のあるものを体系的に把握し、資源を実感できる改善に充てるようにします。

デュッセルドルフは ヨーロッパの心臓部

共にあれば、私たちは無敵です。

30カ国以上で同じ基本方針掲げる最初の全ヨーロッパ政党として、ヨーロッパは私たちの核心的なテーマです。ヨーロッパの統合は、かつて敵対していた国々之间に平和をもたらし、経済的繁栄とすべての人の福祉を実現しました。第二次世界大戦終結から80年が経った今、この国家連合は、世界中で強まる民族主義的潮流によって厳しい試練に直面しています。

私たちは、現代の課題は団結した力によってのみ解決できると確信しています：強固で連帯したヨーロッパとして。そのため、私たちはより少ないヨーロッパではなく、より多くのヨーロッパを求めます：改革された、真に機能するEU議会、共通の外務省、そしてヨーロッパ軍。なぜなら、現代の脅威は国境で止まるものではないからです。もちろん、デュッセルドルフでEUを改革することはできません。しかし、過去数年間で失われたかもしれない信頼を回復することはできます。

基本理念とビジョン

欧州の理念と統合：多くの地域でEU批判の勢力が拡大し、欧州連合を平和プロジェクトとして信頼する気持ちが薄れています。私たちはVoltとしてこれに断固として反対し、欧州のアイデンティティや欧州の物語の形成を促進するあらゆる取り組みを支援したいと考えています。例えば、共通の欧州の記憶文化の形成や、新設される助成金事務局を通じたEU助成金の可視化と相談支援などです。

欧州ネットワーク：私たちは既存の都市間提携の強化に努め、長期的にデュッセルドルフがさらに多くの都市間提携を結ぶよう促進し、市民が長期的な交流プログラム、旅行、イベントを通じて欧州の多様性を身近に感じられるよう支援します。

EU在住者：デュッセルドルフの若手プロフェッショナルを対象としたErasmus+プロジェクトの拡大を推進する窓口を設置し、興味のある在住者や企業を支援・伴走します。これにより、専門人材の不足を一部解消し、当市の欧州統合を強化します。ターゲットを絞ったソーシャルメディアキャンペーン、Erasmus+プログラムなどを通じて、当市を欧州の専門家に魅力的にアピールし、欧州の専門家に多くのメリットを伝えることを目指しています。

コンテンツ責任者
Volt Düsseldorf
c/o Volt Landesverband NRW
Haroldstraße 24
40213 Düsseldorf